

**千葉市美術館「千葉開府900年記念特別展 月と星と—美術がつなぐとき」
～千葉のまちの象徴とされてきた「月・星」にまつわる古今の美術を紹介～**

千葉市美術館では、「千葉開府900年記念特別展 月と星と—美術がつなぐとき」を開催しますので、お知らせします。

本展では、千葉のまちをひらいた千葉氏が一族の守護とした「妙見」信仰に着想を得て、そのシンボルである月・星をテーマにした近世～現代の美術作品約150点を展示します。

開催に先立ち、9月15日（火）14：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

1 会期

令和8年9月16日（水）～11月23日（月・祝）

休室日 9月24日（木）、28日（月）

10月5日（月）、13日（火）、19日（月）、26日（月）

11月2日（月）、9日（月）、16日（月）

2 会場

千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

3 主催

千葉市美術館

4 ポイント

◆千葉を開いた千葉氏が尊崇した「妙見」の月・星をテーマに、近世～現代美術約150点を展示

北極星と北斗七星を神格化した「妙見」信仰は、天空から人を見守り、方角を示し、運命をつかさどる神として広く尊崇されてきました。本展では、千葉氏が篤く信仰し、一族とまちの象徴となった「妙見」の月・星をテーマに、近世から現代に至る美術作品約150点で、月・星を通して見た人々の思いを紹介します。

中でも通常は非公開の県指定有形文化財「千葉妙見大縁起絵巻」は妙見菩薩との出会いや加護による勝利など、千葉妙見の姿を絵で見ることのできる唯一最古の資料であり、千葉開府900年を記念する本展の大きな見どころとなっています。

◆妙見信仰にまつわる大壁画、宮島達男の大型インスタレーション作品を修復後初公開

千葉氏と妙見の由緒を千葉のまちの象徴として未来につなごうとした営みは、現代にも受け継がれています。1967年、千葉開府850年を目前に開館した千葉市郷土館（現・千葉市立郷土博物館）において、日本画家・田岡春径が「千葉妙見大縁起絵巻」を原案に、横8mの大壁画「妙見尊出現之図」を描き、郷土館に飾りました。長年保管されていた本作は、千葉開府900年記念事業として昨年度修復を行い、本展で修復後初公開されます。

また、千葉市美術館開館記念展で発表された現代美術家・宮島達男による大型インス

タレーション「地の天」も展示します。直径約10mにおよぶ宇宙のような円形の中に1から9までの数字が変化を繰り返すLEDが星座のように浮かび上がる作品で、2024年度に197個すべてのLEDを交換する修復が完了しました。こちらも修復後初公開となります。

◆貴重な古星図など天文資料を通して、人と星の関係を紹介

月・星をテーマとした本展では、現存する世界最古の中国・南宋時代の実測星図の拓本や1677年に作られた日本初の星図をはじめとする東アジア・日本の天文資料を展示します。さらに、コペルニクスの地動説を説明したガリレオ・ガリレイの有名な「天文対話」や16世紀の最も美しい科学書とされるペトルス・アピアニス「皇帝の天文学」の当初の姿を完全に残す世界的にも貴重な第一級資料や美しい天球図の数々など、千葉市立郷土博物館の貴重な天文資料をご覧ください。これらの資料を通して、人々が古来どのように星空を思い、後世へ伝えてきたのかをご紹介します。

◆現代アーティスト9組による月・星にまつわる多様な表現を紹介

本展では、千葉市美術館のコレクションに加え、千葉の芸術文化の発展に関わりのある現代作家も取り上げます。出品作家は青木野枝、植松琢磨、川内理香子、高田安規子・政子、三沢厚彦、宮内由梨、宮島達男、渡辺望、渡辺泰子の9組です。月・星をテーマとした作品を、展示室だけでなくさや堂ホールを含む館内各所に展開します。現代美術のさまざまな表現に触れることで、社会の多様さや豊かさに気付くきっかけを提供します。

5 観覧料

一般 1,500円(1,200円)、大学生 1,000円(800円)

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

かつこ内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は、ローソンチケット(Lコード 32382)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて9月15日(火)まで販売(9月16日(水)以降は当日券販売)

※10月18日(日)は「市民の日」につき観覧無料

※金・土曜日の18:00以降はナイトミュージアム割引により観覧料2割引

6 関連イベント

アーティストトークやワークショップ、ライブイベント、担当学芸員によるショートレクチャーなどを開催します。(詳細は別紙参照)

「千葉開府900年記念特別展 月と星と—美術がつなぐとき」披露説明会

1 日時

9月15日(火) 14:00から

2 場所

千葉市美術館 8階展示室

3 内容

展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明します。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

千葉市美術館 担当学芸員 松尾 知子、森 啓輔
広報担当 磯野 愛

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

メール isono@ccma-net.jp